

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第21週の発生動向

トピックス

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

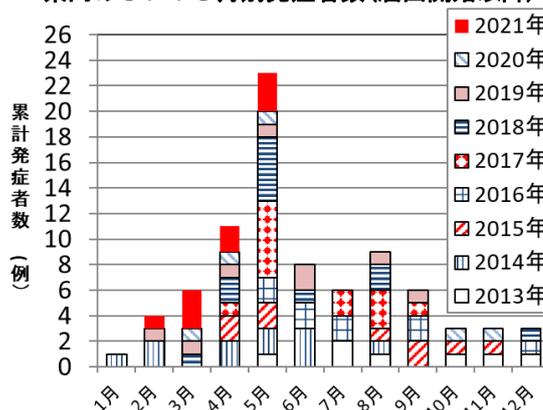
(全数報告の感染症) の報告が高鍋保健所管内からあった。患者は70歳代の男性で、ダニの刺し口があった。県内での報告は、累計83例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	3	20	33	18	5

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が56例あり、2021年の累積報告数は2,150例となった。

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



全数報告の感染症 (21週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。
- 2類感染症：結核2例。
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例、日本紅斑熱1例、レジオネラ症1例。
- 5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症1例、破傷風1例。

	疾患名	保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	男	尿路結核	頻尿、排尿困難
		小林	90歳代	男	肺結核	なし
3類	腸管出血性大腸菌感染症	高鍋	80歳代	女	—	腹痛、水様性下痢、血便、O26(VT1)
4類	重症熱性血小板減少症候群	高鍋	70歳代	男	—	発熱、下痢、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹、刺し口
	日本紅斑熱	宮崎市	80歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常
	レジオネラ症	宮崎市	50歳代	男	肺炎型	発熱、肺炎
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	70歳代	男	—	発熱、咳、肺炎、菌血症
	破傷風	都城	80歳代	女	—	筋肉のこわばり、開口障害、発語障害、強直性痙攣、反弓緊張

新型コロナウイルス等感染症 (21週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	保健所	報告数	年齢群										症状
			10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	
新型コロナウイルス感染症	宮崎市	24例	2	3	4	6		3	3		1	2	発熱、咳、頭痛、全身倦怠感、嗅覚・味覚障害等
	都城	19例	1	5	3	3	4	2	1				
	延岡	2例			1				1				
	小林	2例						1		1			
	高鍋	2例		1					1				
	日向	1例										1	
	中央	3例					2			1			
県外	3例	1		2									

《前週との比較》

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は498人(定点当たり14.7)で、前週比107%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

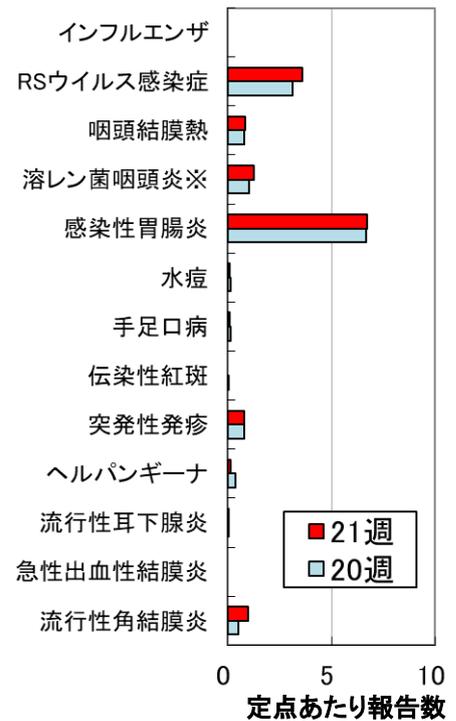
【RSウイルス感染症】

報告数は130人(3.6)で、前週比116%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.20)の約18.2倍であった。日向(9.5)、高鍋(8.3)、延岡(7.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月～3歳が全体の約9割を占めた。

【感染性胃腸炎】

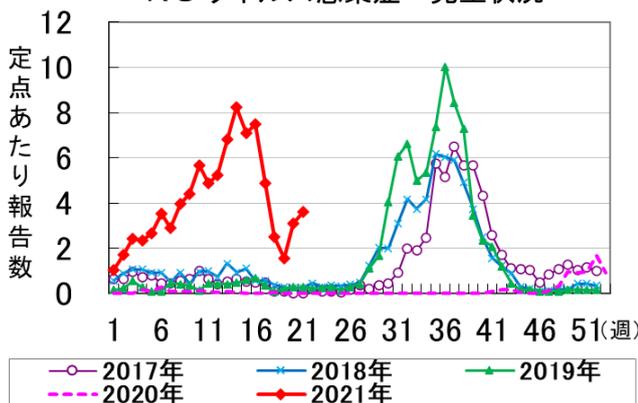
報告数は242人(6.7)で、前週比101%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(7.8)の約0.9倍であった。小林(12.3)、都城(9.7)、宮崎(7.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は1～4歳が全体の約半数を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

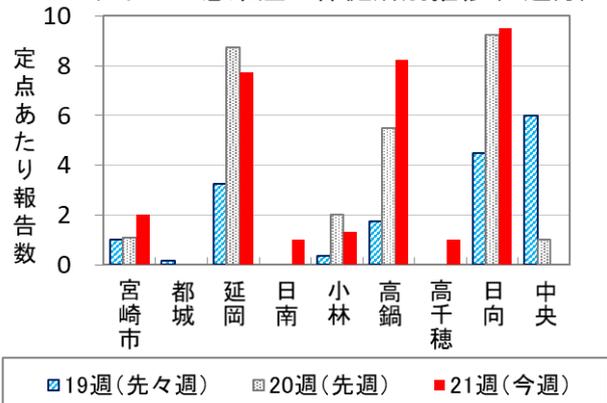


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

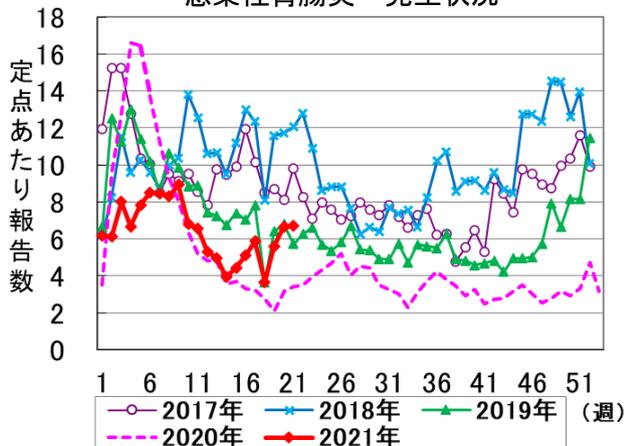
RSウイルス感染症 発生状況



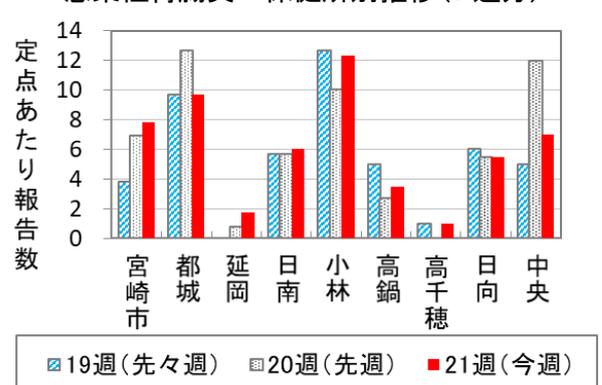
RSウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★ なし。

🇯🇵 全国 2021 年第 20 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	232 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	49 例				
4類感染症	E 型肝炎	11 例	A 型肝炎	2 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例
	つつが虫病	5 例	日本紅斑熱	10 例	レジオネラ症	20 例
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	22 例
	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3 例
	後天性免疫不全症候群	13 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	24 例	水痘（入院例）	3 例	梅毒	95 例
	播種性クリプトコックス症	4 例	破傷風	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	11 例				

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS))へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 111%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症、手足口病及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は咽頭結膜熱と水痘であった。

RSウイルス感染症の報告数は 5,735 人(1.8)で前週比 182%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.18)の約 10.2 倍であった。奈良県(9.8)、山口県(8.5)、石川県(6.7)からの報告が多く、年齢群別では6ヵ月から3歳が全体の約9割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 11,931 人(3.8)で前週比 97%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(5.6)の約 0.7 倍であった。高知県(11.3)、愛媛県(10.5)、鳥取県(8.5)からの報告が多く、年齢群別では1歳から2歳が全体の約3割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

疾病名		第20週	第21週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	112	130	20		31	3	4	33	1	38	
	定点当り	3.11	3.61	2.00	0.00	7.75	1.00	1.33	8.25	1.00	9.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	29	31	5	11	4	1	2	4		4	
	定点当り	0.81	0.86	0.50	1.83	1.00	0.33	0.67	1.00	0.00	1.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	37	46	8	1	16	15		3		2	1
	定点当り	1.03	1.28	0.80	0.17	4.00	5.00	0.00	0.75	0.00	0.50	1.00
感染性胃腸炎	報告数	240	242	78	58	7	18	37	14	1	22	7
	定点当り	6.67	6.72	7.80	9.67	1.75	6.00	12.33	3.50	1.00	5.50	7.00
水痘	報告数	6	4	1	2			1				
	定点当り	0.17	0.11	0.10	0.33	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	5	3				1				2	
	定点当り	0.14	0.08	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	28	29	12	6	4	2	2			1	2
	定点当り	0.78	0.81	1.20	1.00	1.00	0.67	0.67	0.00	0.00	0.25	2.00
ヘルパンギーナ	報告数	14	6		2				1			3
	定点当り	0.39	0.17	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	3.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	1	1								
	定点当り	0.06	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3	6	3	2	1						
	定点当り	0.50	1.00	1.00	1.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2021年第1週～21週)

2類感染症	結核	51例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	15例(1)		
4類感染症	E型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	9例(1)
	日本紅斑熱	5例(1)	レジオネラ症	3例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例
	クリプトスポリジウム症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
	後天性免疫不全症候群	3例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	38例
	破傷風	2例(1)	百日咳	1例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	2150例(56)		

()内は今週届出分、再掲